

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 27 年 10 月 8 日 (2015.10.8)

【公開番号】特開 2013-140781 (P2013-140781A)

【公開日】平成 25 年 7 月 18 日 (2013.7.18)

【年通号数】公開・登録公報 2013-038

【出願番号】特願 2012-259630 (P2012-259630)

【国際特許分類】

H 0 1 M 10/0587 (2010.01)

H 0 1 M 10/052 (2010.01)

H 0 1 M 4/134 (2010.01)

【F I】

H 0 1 M 10/0587

H 0 1 M 10/052

H 0 1 M 4/134

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 8 月 24 日 (2015.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

捲回体を有し、

前記捲回体は、集合シートと、第 1 のセパレータとを有し、

前記集合シートは、正極シートと、負極シートと、前記正極シートと、前記負極シートとの間の第 2 のセパレータとを有し、

前記正極シートは、正極集電体の両面に正極活物質を有し、

前記負極シートは、負極集電体の両面に負極活物質を有し、

前記正極活物質、又は前記負極活物質は、開口部を有する領域と、開口部を有していない領域とを有し、

前記集合シートにおいて、曲げが生じている部分は、前記開口部を有する領域と重なり

、  
前記開口部は、複数配置され、

前記複数の開口部が配置される間隔は、前記曲げが生じている部分の曲率半径が小さくなるにつれて、短くなることを特徴とする角形リチウム二次電池。

【請求項 2】

捲回体を有し、

前記捲回体は、集合シートと、第 1 のセパレータとを有し、

前記集合シートは、正極シートと、負極シートと、前記正極シートと、前記負極シートとの間の第 2 のセパレータとを有し、

前記正極シートは、正極集電体の両面に正極活物質を有し、

前記負極シートは、負極集電体の両面に負極活物質を有し、

前記正極活物質、又は前記負極活物質は、開口部を有する領域と、開口部を有していない領域とを有し、

前記集合シートにおいて、曲げが生じている部分は、前記開口部を有する領域と重なり

、

前記開口部は、複数配置され、  
前記複数の開口部が配置される間隔は、前記曲げが生じている部分の曲率半径が小さく  
なるにつれて、密になることを特徴とする角形リチウム二次電池。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 において、  
前期複数の開口部は、前記開口部を有する領域において、内側に位置する第 1 の開口部  
と、外側に位置する第 2 の開口部とを有し、  
前記第 2 の開口部の長辺は、前記第 1 の開口部の長辺より短く、  
前記第 2 の開口部は、前記正極活物質又は前記負極活物質の端部に設けられていること  
を特徴とする角形リチウム二次電池。